



ユニチカ株式会社

2025年3月期 第3四半期 決算の概要

2025年2月12日

- 当社は2024年11月28日付で、株式会社地域経済活性化支援機構（以下、「REVIC」と略称します。）に対して事業再生計画を提出し、再生支援の申込みを行い、REVICより再生支援決定の通知を受けました。
- 本事業再生計画は、繊維事業からの撤退を始めとした、大規模な構造改革を伴う内容であり、株式の希薄化や、債権放棄を含む金融支援など、多くのステークホルダーの皆様にご負担をおかけいたしますが、この計画を完遂した暁には、収益構造および財務体質が大きく改善し、安定した成長が可能な企業へと変貌できることと信じております。
- 2025年2月7日に開催した臨時株主総会で、事業再生計画遂行のために必要な議案と、新しい経営体制について承認されました。
- 今後は事業再生計画の達成に向け、全社一丸となって取り組んでまいります。

- 1 2025年3月期 第3四半期決算概要**
- 2 各事業セグメントの状況**
- 3 2025年3月期 通期業績予想**

2025年 3月期 第3四半期 実績

- 食品包装用途、電気電子用途、生活資材用途などで販売が回復。各製品で価格改定を実施し、売上高は935億円（前年同四半期比+70億円）となった。価格改定の効果と、経費削減などのコストダウン施策の実施により、営業利益は43億円（前年同四半期比+69億円）となった。
- 前期末対比で円安が進んだため、外貨建て資産の評価益を中心に、為替差益12億円を計上した結果、経常利益は50億円（前年同四半期比+71億円）となった。
- 2024年11月28日に公表した事業再生計画に従い、当社及び当社グループが保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、減損損失316億円を計上。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は▲244億円となった。

2025年 3月期 通期業績予想

- 通期の業績予想を下記の通り修正。

11月公表	売上高: 1,200	営業利益: 30	経常利益: 14	当期純利益: ▲103（億円）
今回修正	売上高: 1,250	営業利益: 50	経常利益: 50	当期純利益: ▲240（億円）
- 減損損失計上の影響により、親会社株主に帰属する当期純利益を▲240億円に修正。売上高、営業利益、経常利益についても、第3四半期までの実績と市況を考慮し修正。

売上高

935億円 (前年同四半期 865億円 / 前年同四半期比 +70億円)

食品包装用途、電気電子用途を中心に幅広い分野での販売数量増と、各製品の価格改定の効果により、前年同四半期比8.1%の増収。

営業利益

43億円 (前年同四半期 ▲26億円 / 前年同四半期比 +69億円)

価格改定の実施とコストダウン施策の実行、および販売数量増の効果により、前年同四半期の赤字から黒字に転換。

経常利益

50億円 (前年同四半期 ▲21億円 / 前年同四半期比 +71億円)

円安による外貨建資産の評価益を中心に、為替差益12億円を計上。
2024年3月末為替レート：1ドル=151円に対し、12月末：1ドル=158円

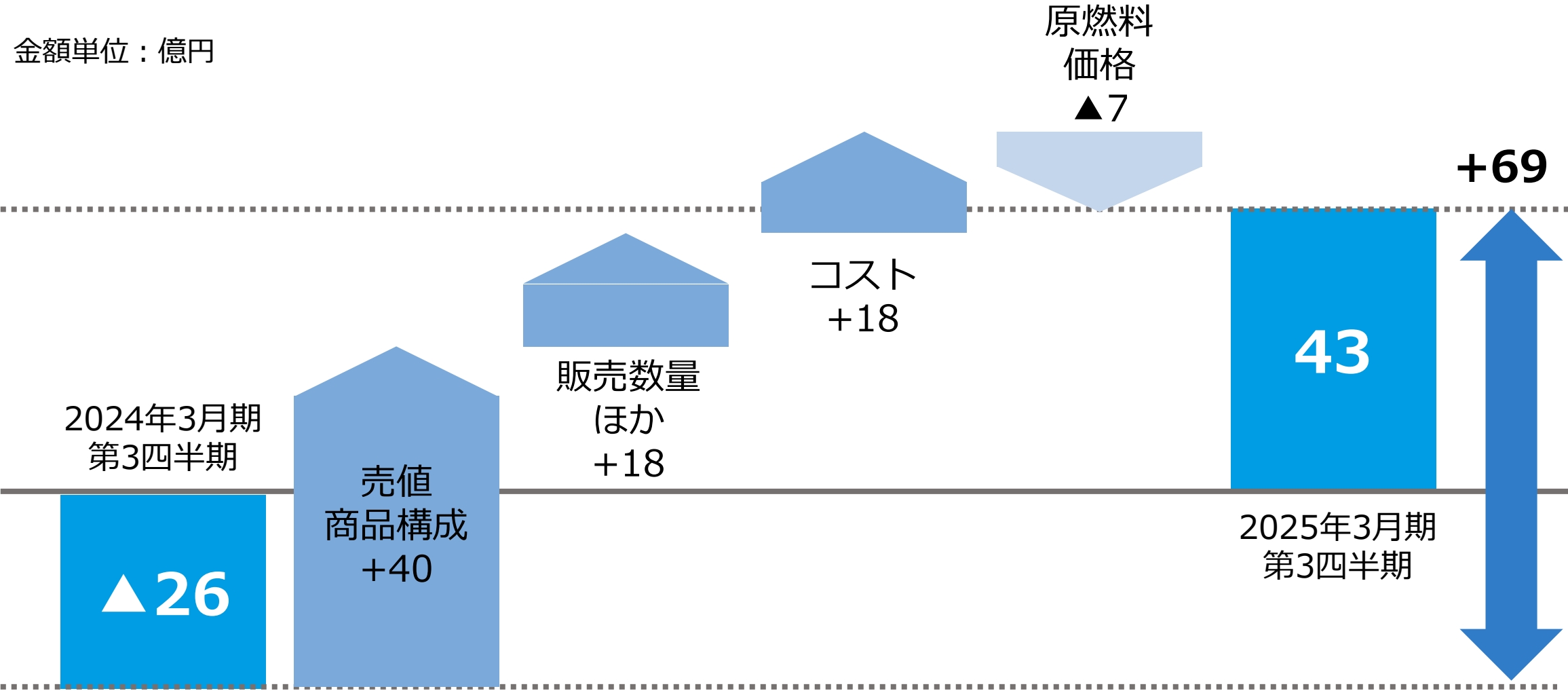
親会社株主に
帰属する
四半期純利益**▲244億円** (前年同四半期 ▲29億円 / 前年同四半期比 ▲215億円)

先般公表した事業再生計画に基づき、当社及び当社グループの固定資産について将来の回収可能性を判断した結果、316億円の減損損失を計上。

連結合計 (単位：億円)	2023年3月期 第3四半期実績	2024年3月期 第3四半期実績	2025年3月期 第3四半期実績	前々年同四半期比	前年同四半期比
売上高	882	865	935	+54	+70
売上総利益	188	134	192	+4	+58
営業利益	18	▲26	43	+25	+69
営業利益率	(2.0%)	(▲3.0%)	(4.6%)	—	—
経常利益	24	▲21	50	+26	+71
特別利益	0	0	2	+2	+2
特別損失	8	5	325	+317	+319
親会社株主に帰属する 四半期純利益	11	▲29	▲244	▲255	▲215
減価償却費*	34	41	35	+1	▲6
設備投資*	53	47	23	▲30	▲24

* 減価償却費、設備投資額は無形固定資産分を含まない

金額単位：億円



セグメント別 (金額単位：億円)	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	前年同四半期比増減	
			金額	率
売上高	865	935	+70	+8.1%
高分子事業	385	422	+37	+9.5%
機能資材事業	250	276	+26	+10.2%
繊維事業	229	237	+8	+3.5%
その他	0	0	+0	+38.8%
営業利益	▲26	43	+69	-
高分子事業	2	45	+43	24.6倍
機能資材事業	▲21	4	+25	-
繊維事業	▲7	▲6	+1	-
その他	▲1	▲1	▲0	-

金額単位：億円		2024年 3月期3Q	2025年 3月期3Q	増減
売上高		385	422	+37
	フィルム	250	260	+10
	樹脂	99	103	+5
	他	36	58	+22
営業利益		2	45	+43

フィルム事業

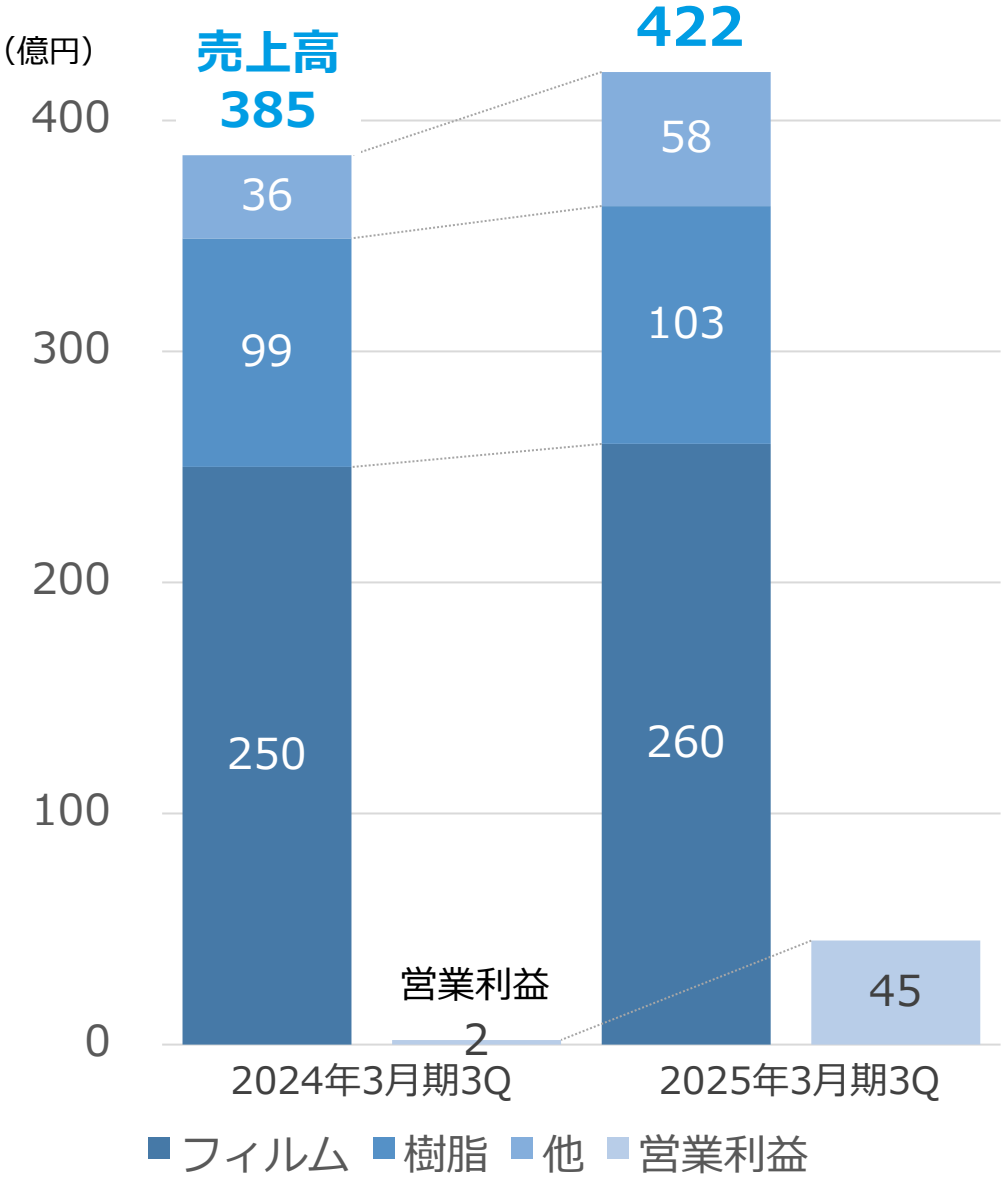
包装分野、工業分野とも、市況の回復により販売が回復。販売増と価格改定の効果により増収。海外においては不採算販売の停止により販売数量は減少したが、価格改定の効果により増収。

樹脂事業

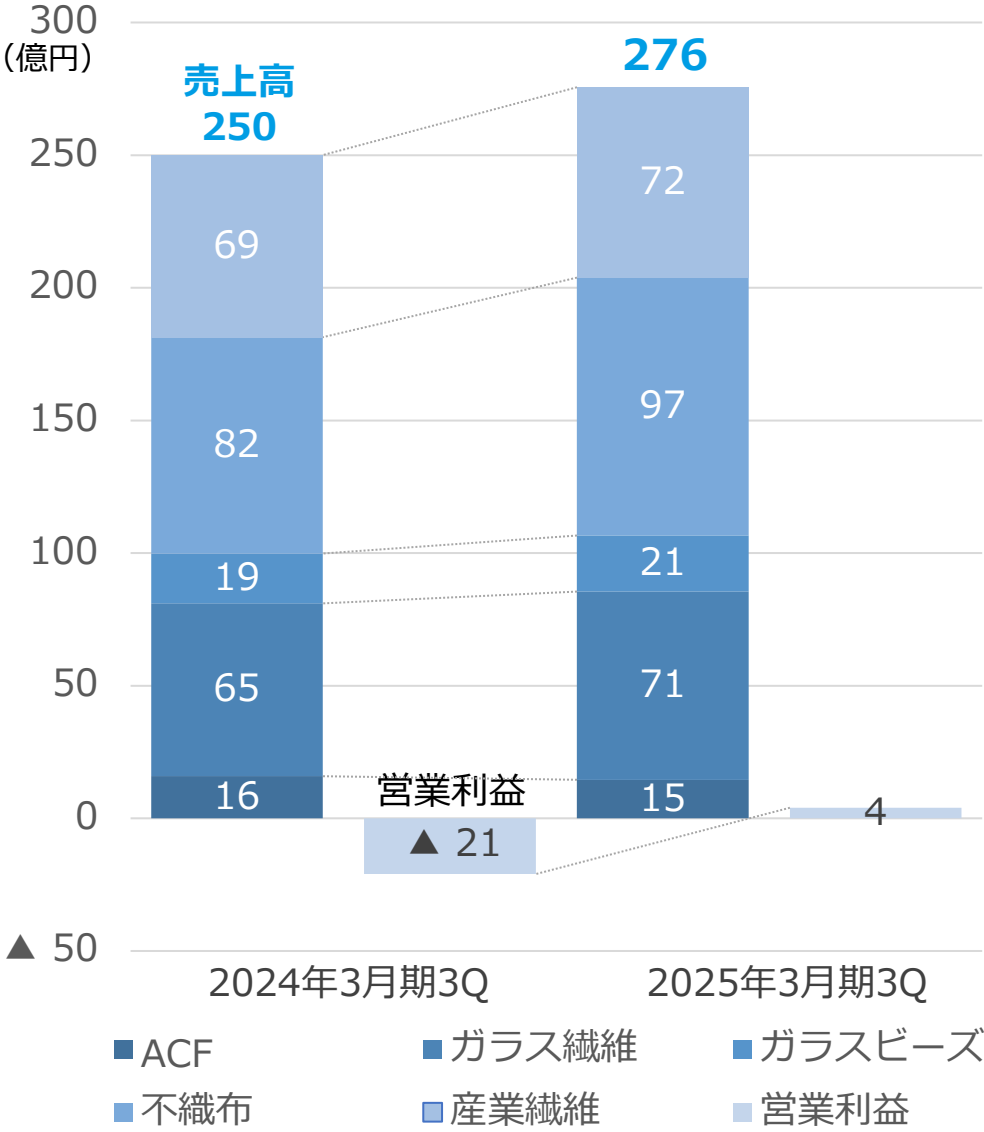
エンブラは自動車分野の需要停滞の影響を受け販売量は減少したが、価格改定を実施し増収。機能樹脂は海外の接着剤・コーティング用途で販売を伸ばした。

セグメント営業利益

販売数量の増加により工場稼働が回復。コストダウン施策の効果と合わせ、原価が改善し増益を実現。



金額単位：億円		2024年 3月期3Q	2025年 3月期3Q	増減
売上高		250	276	+26
	活性炭繊維 (ACF)	16	15	▲1
	ガラス繊維	65	71	+6
	ガラスビーズ	19	21	+2
	不織布	82	97	+16
	産業繊維	69	72	+3
営業利益		▲21	4	+25



活性炭繊維（ACF）事業

浄水用途の販売は回復したが、めっき液浄化用フィルター、VOC除去用シートの販売が市場の鈍化により低調推移。

ガラス繊維事業

産業資材分野は建築資材用途を中心に堅調。電子材料分野は、生成AI関連需要の拡大により高機能ガラスクロスの販売が伸長。

ガラスビーズ事業

道路用途は工事件数減少の影響、自動車用途の販売は苦戦したが、高機能ガラスビーズが堅調。

不織布事業

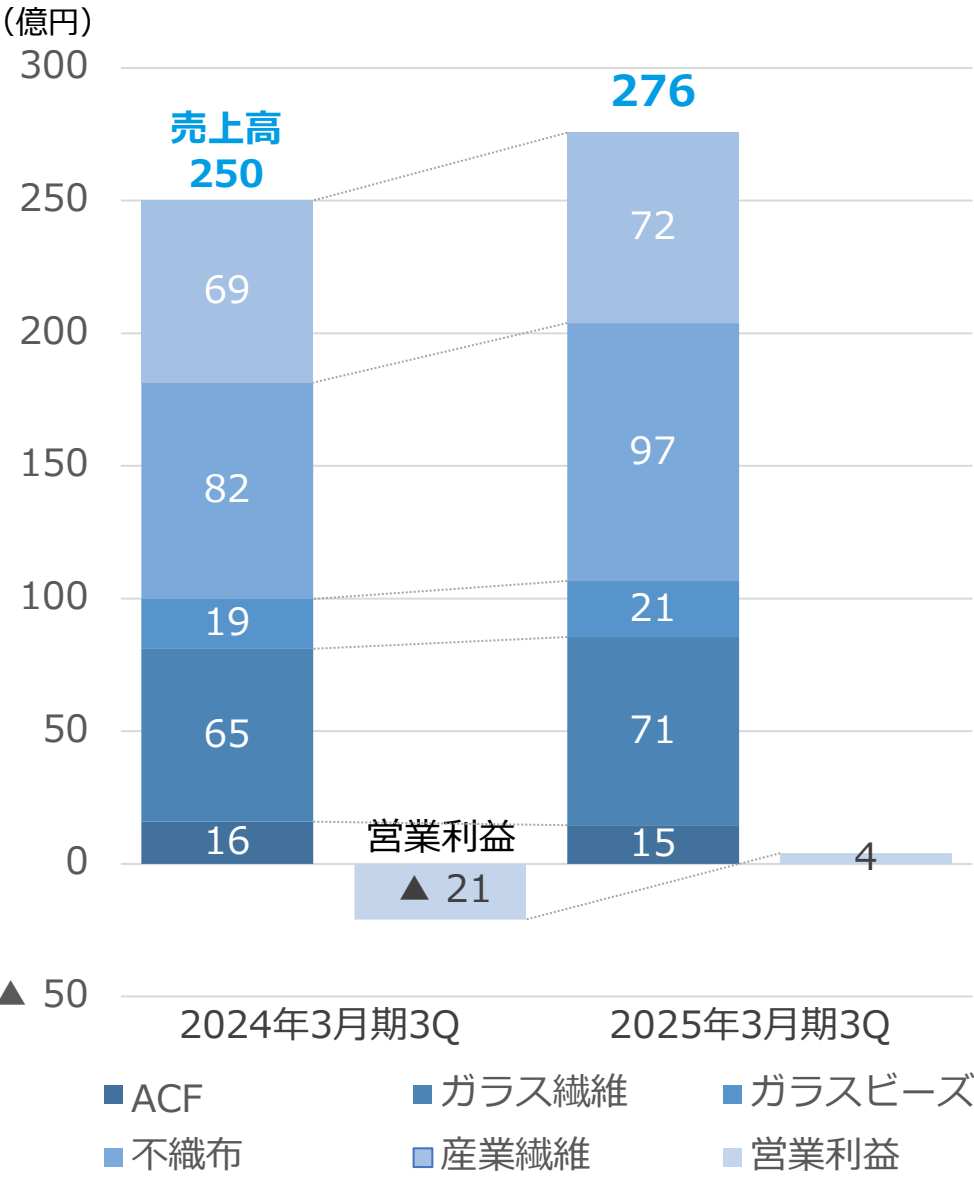
ポリエステルспанボンド、コットンспанレースとも、生活資材用途を中心に販売量が回復。価格改定と円安の効果で増収。

産業繊維事業

ポリエステル高強力糸の販売が減少。ポリエステル短繊維の販売は横ばい。全体の販売量は減少したが、価格改定を実施した効果で増収。

セグメント営業利益

価格改定の効果とコストダウン施策の効果により収益性が改善。前年同四半期の営業赤字から黒字に転換。



金額単位：億円		2024年 3月期3Q	2025年 3月期3Q	増減
売上高		229	237	+8
	衣料繊維・他	229	237	+8
営業利益		▲7	▲6	+1

衣料繊維事業

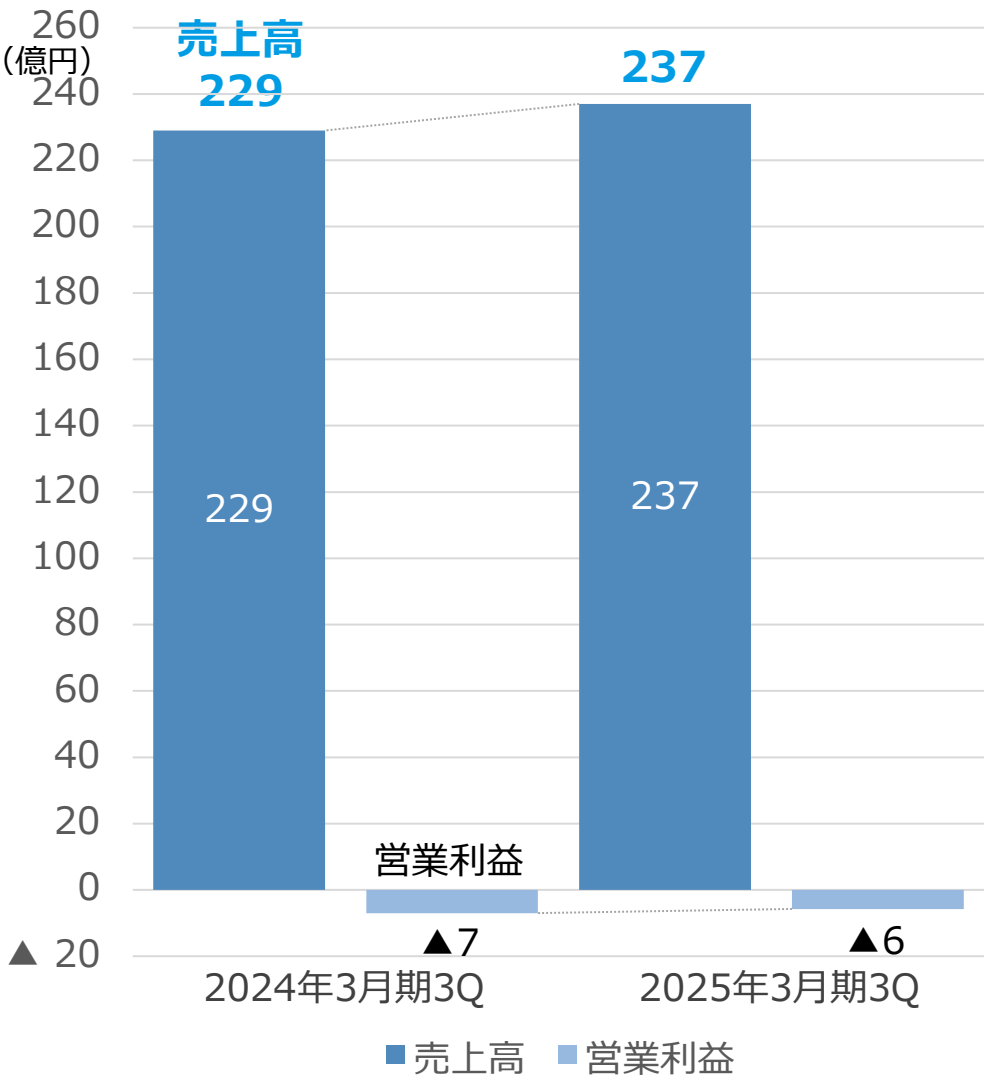
ユニフォームの販売は官需を中心に堅調。一般衣料、寝装、スポーツ衣料分野は需要低迷が長期化している。

産業資材事業・グローバル事業

産業資材事業は、建築土木関連の販売が回復。グローバル事業はデニム生地 of 輸出販売が回復した。

セグメント営業利益

販売の低調、円安によるコストアップが続く中、価格改定やコストダウン施策により増収、赤字縮小。



(金額単位：億円)	2024年 3月期実績	2025年 3月期予想 (今回修正)	前期比 増減	2025年 3月期 3Q実績	対予想 進捗率	2025年 3月期予想 (11月公表値)
売上高	1,183	1,250	+67	935	74.8%	1,200
営業利益	▲25	50	+75	43	85.9%	30
経常利益	▲10	50	+60	50	100.1%	14
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲54	▲240	▲186	▲244	-	▲103

※減損損失の計上を受け、親会社株主に帰属する当期純利益を▲240億円に下方修正。
売上高・営業利益についても、3Qまでの状況と直近の市況を考慮して修正。
営業外損益については、4Qの為替差損益は見込んでおりません。

※業績予想の前提

為替レート (円/米ドル)	原油価格 (ドル/バレル)
153	80

(金額単位：億円)		2022年 1Q	2022年 2Q	2022年 3Q	2022年 4Q	2023年 1Q	2023年 2Q	2023年 3Q	2023年 4Q	2024年 1Q	2024年 2Q	2024年 3Q
売上高		296	295	291	298	279	301	285	318	307	309	320
	高分子	127	125	124	124	127	133	125	126	141	140	141
	機能資材	89	88	84	82	79	86	85	92	93	91	92
	繊維	80	81	82	92	73	82	75	101	72	78	87
	その他、連結調整	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
営業利益		10	5	3	▲4	▲7	▲11	▲8	1	12	11	21
	高分子	13	10	9	1	2	▲1	1	4	15	13	18
	機能資材	1	▲0	▲2	▲5	▲7	▲8	▲6	▲4	▲0	2	3
	繊維	▲5	▲4	▲4	▲0	▲2	▲3	▲3	2	▲2	▲3	0
	その他、連結調整	▲0	▲0	▲0	▲0	0	▲0	▲0	▲0	▲0	▲0	▲0

(金額単位：億円)		2022年 1Q	2022年 2Q	2022年 3Q	2022年 4Q	2023年 1Q	2023年 2Q	2023年 3Q	2023年 4Q	2024年 1Q	2024年 2Q	2024年 3Q
高分子		127	125	124	124	127	133	125	125	141	140	141
	フィルム	86	85	79	84	85	84	82	85	90	88	82
	樹脂	31	32	31	32	32	32	35	35	34	34	35
	その他	10	8	15	8	11	17	8	5	17	18	24
機能資材		89	88	84	82	79	86	85	92	93	91	92
	ACF	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	ガラス繊維	24	22	19	18	20	23	23	24	24	24	23
	ガラスビーズ	7	7	7	6	6	6	7	8	8	6	7
	不織布	30	31	29	29	26	28	28	31	30	32	35
	産業繊維	23	23	24	24	23	23	22	24	26	23	23
繊維		80	81	82	92	73	82	75	101	72	78	87

ご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、
本資料作成時点において
入手可能な情報に基づいて作成したものであり、
実際の業績等は、今後の種々の要因によって、
本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。